

- 月形町の農村資源を消費者の視点から見直し、地域の宝となる観光コンテンツを開発。
- 体験・宿泊・食事の分業化により、里の生活、仕事、遊びを観光資源として活用し、旅行客の受入環境を整備。

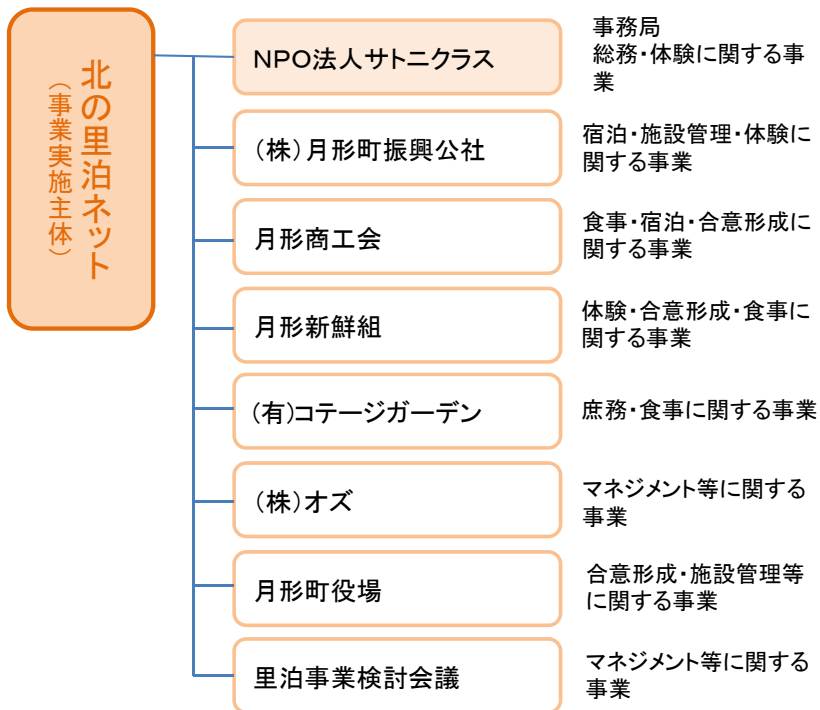


【採択年度】
平成29年度

【事業実施期間】
平成29～30年度



【実施体制】



【特徴的な取組】

- 地域一丸となった取組に向け、セミナーや勉強会を実施。
【農泊セミナーin月形、農泊勉強会 他】
- 地域の発酵食文化を観光コンテンツとして磨き上げ。
【漬物、塩麴、醤油麴、味噌づくり体験 他】
- 豪雪地帯の特性を生かしたアクティビティの開発。
【スノーシュー・里の雪遊び体験 他】

【取組内容】

- 1. 地域の合意形成・地域資源の発掘に関する取組**
地域住民や道内農泊関係者を対象としたシンポジウム、勉強会等を開催している。また、地域おこし協力隊と連携し、フォトコンテストなどにより観光活用が見込まれる地域資源の発掘を行っている。
- 2. 宿泊・食事の整備に関する取組**
先進地の視察や専門家による研修を通じて、宿泊マネジメント・接客・接客などのスキルアップを図っている。食事については、専門家による研修、試食会を通じて、郷土食を活かしたメニューの開発を行っている。
- 3. 体験メニューの磨き上げに関する取組**
体験メニューを「里しごと」「里まなび」「里あそび」の3つにカテゴライズし、それぞれについて地域の特性を生かしたプログラムを開発している。発酵食文化や開拓史、豪雪地帯の特性を生かしたアクティビティを体験メニュー化し、インバウンド対応を含めた取組みを実践している。
- 4. マネジメント・マーケティングに関する取組**
地域観光に実績のある法人と連携して、地域のブランド化を目指した取組みを行っている。マーケティングについては、各種媒体、イベント等を通じた地域観光のPR、留学生ネットワークの協力によるSNSでの情報拡散などに取組んでいる。

インバウンド対応状況 (青：対応)

Wi-Fi	洋式トイレ	キャッシュレス	外国語HP	外国語案内表示	外国語ネット予約